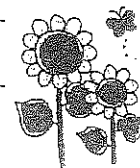




年 組 名前()

保護者サイン

教科	学習内容		チェック
国語①	今回の学習	『竹取物語』か『平家物語』の暗唱の後、『きいて、きいて、きいてみよう』	
	今回の宿題	音読、日記、プリントの残り、メモを見ながらお友達をしょうかいする練習	
	次回の学習	『きいて、きいて、きいてみよう』(お友達に聞いたインタビューをもとに、その発表)	
国語②	今回の学習	再、講、総、製、混、燃	
	今回の宿題	漢字ノートに漢字テストの書きの答えを3回以上覚えるまで書く、漢字の学習の残り	
	次回の学習	圧、素、統、断、因、限	
算数	今回の学習	偶数と奇数、倍数と約数	
	今回の宿題	ドリルp.38	
	次回の学習	偶数と奇数、倍数と約数	
理科	今回の学習	人のたん生・母体のしくみ・たい児の大きさを感じよう(p.60-65)	
	今回の宿題	ドリルの王様69p.71	
	次回の学習	自由研究の計画(p.66-69)	
社会	今回の学習	寒い土地のくらし(p.56-61)	
	今回の宿題	ドリルの王様5p.11	
	次回の学習	わたしたちの生活と食料生産(p.62-73)	
行事など	7月18日 夏季休業前登校日(短しゅく授業、学年集会) 8月29日 夏季休業後登校日(短しゅく授業、学年集会)		



音読表	◎最高 Oいいね △もう少し ×がんばって	日	月	火	水	木	金	読んだ本の題名(何さつでも)	
	気持ちをこめて読めた								
	大きな声で読めた								
	ゆっくり、はっきり読めた								
	聞いてくれた人のサイン (おうちの人、友達)								

その他	・夏休み前、職員室前で図書を借りることができます。ロミタ校の図書も借りられます。 ・けっ席などでクラスの人数が少ない場合は、教室がかわることがあります。	保護者より
-----	---	-------

漢字テストはんじ		12	①	読 再びたがねる	②	読 再来週	③	読 大講堂	④	読 総合	⑤	読 製品	⑥	読 男女混合	⑦	読 電車が混む	⑧	読 材料を混ぜる	⑨	読 燃料	⑩	読 火を燃やす
西大和学園補習校五年			①	読 ふたたびたがねる	②	読 さらいしゅう	③	読 だいこうどう	④	読 そうごう	⑤	読 せいひん	⑥	読 だんじよこんびん	⑦	読 でんしゃがこむ	⑧	読 ざいりようをまぜる	⑨	読 ねんりよう	⑩	読 ひをもちます

漢字テスト		名前	⑪	書 はんのう	⑫	書 きたいにこたえる	⑬	書 おおせい	⑭	書 いきおいかい	⑮	書 しよくいんしつ	⑯	書 けんせつ	⑰	書 かいじようをもうける	⑱	書 おくぞう	⑲	書 けんちく	⑳	書 かんけいをきざく
西大和学園補習校五年			⑪	書 反応	⑫	書 期待にこたえる	⑬	書 大勢	⑭	書 勢いがい	⑮	書 職員室	⑯	書 けんせつ	⑰	書 会場を設ける	⑱	書 木造	⑲	書 建築	⑳	書 関係を築く

アイヌ民族博物館		しほらいポロトコタン			
AINU MUSEUM		POROTO KOTAN		한국어・English・中文(繁体字)・中文(简体字)	
利用案内	みどころ	イベント情報	ショップ	法人の概要	

アイヌ文化入門

[トップ](#) > [アイヌ文化入門](#) > [アイヌの歴史と文化](#) > [ことば](#)

川

[歴史](#) | [生業](#) | [衣服・装身具](#) | [食物](#) | [住まい](#) | [信仰・靈送り](#) | [人の一生](#) | [芸能](#) | [ことば](#)

アイヌの歴史と文化
(概説)



アイヌ語の表記

アイヌ語は現在、ローマ字で表す方法とカタカナで表す方法の2通りあります。このホームページでは基本的にカタカナで表しています。

ただ、アイヌ語にはカタカナでは表せない音があります。日本語はローマ字で書いた時に、ア行の音のように母音だけか、カ行以降のように子音+母音の組み合わせでできていますが(ンは例外)、アイヌ語は子音で終わる音が少なくありません。たとえば「良い・美しい」はピリカ(pirika)ではなくピリカ(pirka)と表記します。これを表すのにこのホームページでは小さいカタカナを使っています。

アイヌ語の単語

- ・ 人間.....アイヌ
- ・ 男性.....オッカヨ
- ・ 女性.....メノコ
- ・ 男の子.....ヘカチ
- ・ 女の子.....マツカチ
- ・ 祖父.....エカシ
- ・ 祖母.....フッチ
- ・ 父.....ミチ
- ・ 母.....ハボ
- ・ 兄.....ユボ
- ・ 姉.....サボ
- ・ 弟.....アク
- ・ 妹.....マタク/マタバ
- ・ 孫.....ミツボ
- ・ 叔父.....アチャボ
- ・ 叔母.....ウナラベ
- ・ 夫婦.....ウムレク
- ・ 夫.....ホク
- ・ 妻.....マツ
- ・ 紳士.....ニシバ
- ・ 淑女.....カツケマツ
- ・ 体.....ネトバク
- ・ 頭.....サバ
- ・ 髪.....オトブ
- ・ 額.....キプトウル
- ・ 耳.....キサラ
- ・ 眼.....シク
- ・ 鼻.....エトウ
- ・ 口.....バラ
- ・ 歯.....ニマク
- ・ 眉.....ララ
- ・ 頬.....ノタカム
- ・ 首.....レクツ
- ・ 肩.....タブ
- ・ 背中.....セトウル
- ・ 腰.....イッケウ
- ・ 手.....テク
- ・ 指.....アシケベツ
- ・ 腹.....ホン
- ・ へそ.....ハンク
- ・ 尻.....オソロ
- ・ 足.....チキリ
- ・ 国.....モシリ
- ・ 村.....コタン
- ・ 山.....ヌプリ
- ・ 川.....ベツ
- ・ 海.....アトウイ
- ・ 湖.....ト
- ・ 木.....ニ
- ・ 森.....ニタイ
- ・ 太陽.....チュブ
- ・ 月.....クンネチュブ
- ・ 空.....ニシ
- ・ 星.....ノチウ
- ・ 春.....バイカラ
- ・ 夏.....サク
- ・ 秋.....チユク
- ・ 冬.....マダ
- ・ 昨日.....ヌマン
- ・ 今日.....タント
- ・ 明日.....ニサッタ

- ・ きつね.....チロンヌブ
- ・ たぬき.....モユク
- ・ シマフクロウ.....コタンコロカムイ
- ・ こんにちは.....イランカラパテ
- ・ ありがとう.....イヤイライケレ
- ・ さようなら.....ヤイトウバレン バイェヤン
- ・ わかる.....エラマン
- ・ わからない.....エランペウテク
- ・ うれしい.....エイコブンテク
- ・ 怒る.....イルルカ
- ・ 笑う.....ミナ
- ・ 泣く.....チシ
- ・ 起きる.....ホプニ
- ・ 寝る.....モコロ
- ・ 歩く.....アバカシ
- ・ 走る.....ホユブ
- ・ 座る.....ア
- ・ 食事する.....イバ
- ・ 料理する.....スケ
- ・ 行く.....オマン
- ・ 来る.....エク
- ・ ~を見る.....ヌカワ
- ・ ~を聞く.....ヌ
- ・ 美しい.....ピリカ
- ・ 醜い.....イボカシ
- ・ 良い.....ピリカ
- ・ 悪い.....ウエン
- ・ 大きい.....ボロ
- ・ 小さい.....ポン
- ・ 長い.....タンネ
- ・ 短い.....タクネ
- ・ 1個.....シネブ
- ・ 2個.....トゥブ
- ・ 3個.....レブ
- ・ 4個.....イネブ
- ・ 5個.....アシクネブ
- ・ 6個.....イワンベ
- ・ 7個.....アラワンベ
- ・ 8個.....トゥベサンベ
- ・ 9個.....シネベサンベ
- ・ 10個.....ワンベ
- ・ 100個.....アシクネホツベ
- ・ 1人.....シネン
- ・ 2人.....トゥン
- ・ 3人.....レン
- ・ 4人.....イネン
- ・ 5人.....アシクネン
- ・ 6人.....イワニウ
- ・ 7人.....アラワニウ
- ・ 8人.....トゥベサニウ
- ・ 9人.....シネベサニウ
- ・ 10人.....ワニウ
- ・ 100人.....アシクネ ホツネン

アイヌ語地名

- ・ 白老。シラウ・オ・イ「蛇・多い・所」。
- ・ ポロトコタン。「大きい・湖・村」。
- ・ 登別。ヌプリ・ベツ「濁った・川」。硫黄泉が川に流れ込んで、水が濁っていたといわれている。

- ・ 札幌。古くは川の名前だった。サツ・ポロ・ベツ「乾く・大きい・川」あるいはサリ・ポロ・ベツ「その重原が・大きい・川」という説がある。
- ・ 旭川。市内に忠別川という川が流れていて、これが旭川という名の由来になっている。チュブ・ベツ「太陽・川」という解釈から生まれた地名であったが、古い記録にはチユク・ベツ「秋・川」と書かれている。

- 苫小牧・原名はマコマイ「山の方に入っているもの(川)」。頭にトー「湖」がついて現在の名前になったらしい。
- 植苗・ウエン・ナイ「悪い・川」。何が悪いのかはわからない。
- ウトナイ湖・ウツ・ナイ「肋骨・川」。肋骨のように何本にも枝分かれした川が流れ込んでいる。
- クッタラ湖・クツタルシ「いたどりの多い所」。湖岸にいたどりが群生していたのであろう。
- 支笏湖・シ・コツ「大きい・谷間」。これは千歳川の原名である。この川が流れ出してくる湖なのでこの名がついたとされている。
- 千歳・シコツは「死骨」に通じて縁起が悪いという理由で、和人が後に改したためでできた地名である。
- 蘭越・ランコ・ウシ「桂の木・群生する所」。
- ニセコアンヌプリ・ニセイ・コ・アン・ベツ「絶壁・に向かって・いる・川」の上にある山という意味。
- 平取・パンケ・ピラ・ウトウル・ナイ「下の・崖・の間の・川」、ベンケ・ピラ・ウトウル・ナイ「上の・崖・の間の・川」のピラ・ウトウルからきている。
- 沙流・サラ「臺原」。
- 室蘭・モ・ルエラン「小さい・坂」
- 洞爺湖・トー・ヤ「沼・岸」。
- 小樽・オタル・ナイ「砂・道・川」、オタ・オロ・ナイ「砂浜の・中の・川」などの説がある。
- 幌加内川・ホロカ・ナイ「後戻りする・川」。川を上流へさかのぼっていくと、湾曲して下流の方に戻っていくような川をさす。
- 振内・フレ・ナイ「赤い・川」。川の付近一帯の土が赤い。
- 膚雲別・ソー・ウン・ベツ「滝・のある・川」。
- 襟裳岬・エン・ルム「突き出ている・岬」。
- 知床・シリ・エトク「大地の・先」。
- 利尻島・リ・シリ「高い・島」。
- 礼文島・レブン「沖」の島。

北海道白老郡白老町若草町2丁目3番4号 一般財団法人アイヌ民族博物館

ご意見ご感想 | 個人情報の取り扱いおよび著作物について

Copyright (C) AinuMuseum. All Rights Reserved.

①次の語句の読み方を書きましょう。(教科書56～59ページ)

1	週末	
2	-20℃	
3	0度以下	
4	差	
5	星空	
6	国内最大級	
7	望遠鏡	
8	天文台	
9	観測	
10	試験場	
11	路面	
12	先住民族	
13	山菜	
14	世代	

②まとめ

十勝地方の人々は、冬の寒さや雪から暮らしを守ったり、夏のすずしさや冬の寒さを生かした産業を工夫したりと、十勝地方の()に合わせた工夫をしている。

③ 次の中から旅行で行ってみたいいちきを一つえらび、その名前と理由を書きましょう。

ぎふけんかいづし 岐阜県海津市 (低い土地)、ながのけんかわかみむら 長野県川上村・みなみまきむら 南牧村 (高い土地)、おきなわ 沖縄島 (あたたかい土地)、ほっかいどうとかちちほう 北海道十勝地方 (寒い土地)

えらんだちいき . . .

理由 . . .

④ 次の中から住んでみたいいちきを一つえらび、その名前と理由を書きましょう。

ぎふけんかいづし 岐阜県海津市 (低い土地)、ながのけんかわかみむら 長野県川上村・みなみまきむら 南牧村 (高い土地)、おきなわ 沖縄島 (あたたかい土地)、ほっかいどうとかちちほう 北海道十勝地方 (寒い土地)

えらんだちいき . . .

理由 . . .

西大和学園補習校五年
漢字テスト

⑩	読	関係を築く
⑨	読	建築
⑧	読	木造
⑦	読	会場を設ける
⑥	読	建設
⑤	読	職員室
④	読	勢がいい
③	読	大勢
②	読	期待に応える
①	読	反応
11		6月27日 配布 7月11日 テスト

西大和学園補習校五年
漢字テスト

⑩	書	ちしき	名前
⑨	書	いしき	
⑧	書	しょうらいのゆめ	
⑦	書	むちゆう	
⑥	書	きんぞく	
⑤	書	みちをたしかめる	
④	書	せいかく	
③	書	たいふうにそなえる	
②	書	じゆんび	
①	書	じゆんけつしょう	

人のたんじょう

2015年7月11日 5年 組 名前：

1. 自分の成長をふりかえてみよう。

自分が生まれたときのようすで調べてきたことを発表しよう。

2. 人の赤ちゃんはどのくらいの体重でうまれてくるのだろう。身長はどのくらいあるのだろう。

自分のときはどのくらいだったのだろう。

3. 人は生まれる前はどのように育っていくのだろう。

① 胎児の始まりはどんな状態だろう。

② 胎児はどのように赤ちゃんになっていくのだろう。。

③ 男女の区別はいつできるのだろう。

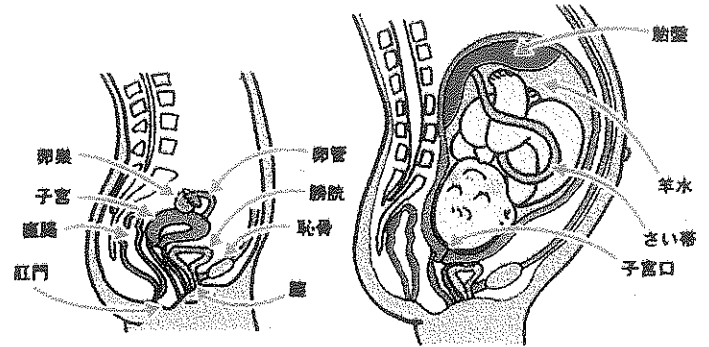
④ おしっこや便はするのだろうか。

⑤ 息はしているのだろうか。

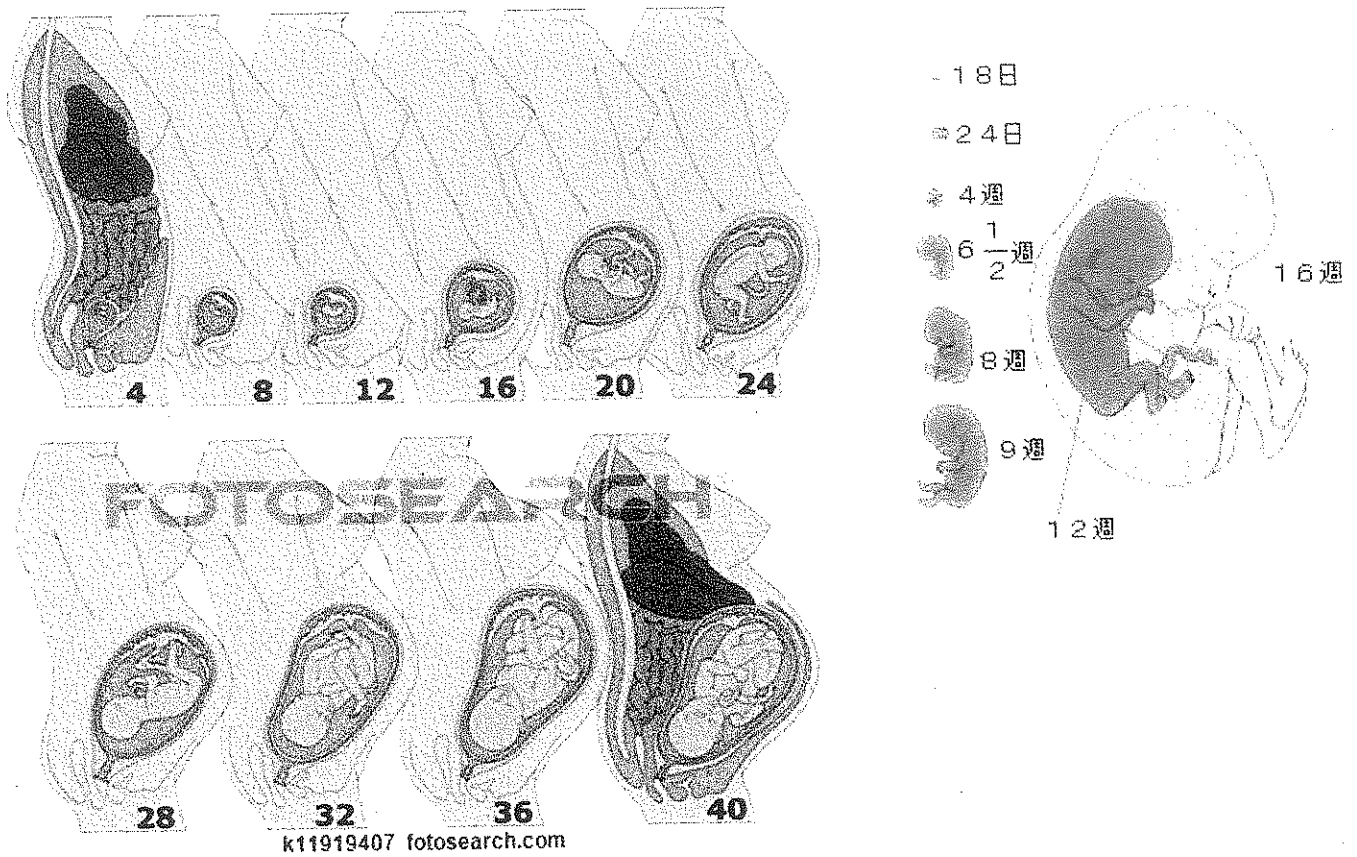
⑥ どうやって養分をとっているのだろう。

⑦ 何か月で生まれるのだろう。

⑧ 赤ちゃんは生まれてすぐに大きな声で泣きます。これを産声といいます。なぜ産声が必要なのだろうか。



3. 胎児の成長



4. 人の子どもは、生まれてからどのくらいの間、ちちを飲んで育つのだろう。

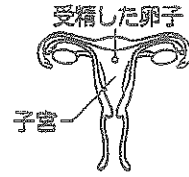
わかったこと

人は、受精卵からおよそ(①)週間、母親の(②)の中で育てられ、生まれてくる。
 (②)の中の胎児は、(③)に守られながら、(④)と
 (⑤)を通して母親から養分をもらっている。生まれた子は、母親の(⑥)を飲んで育つ。

人と同じように、生まれるまでは母親の子宮の中で育ち、親と似たすがたで生まれ、生まれてからは母親のちちで育つ動物をほ乳類といい、イヌ、ネコ、ウシ、ウマ、ブタ、ウサギなどはみなほ乳類である。

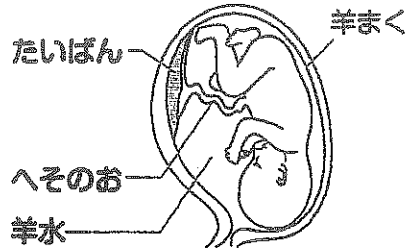
しまゅう たいじ せいちょう
子宮と胎児の成長

(1) 受精した卵子…やがて子宮のかべについて、しだいに成長していく。

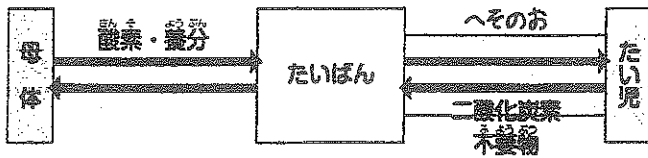


(2) 胎児の成長…母親の体内で育っている子どもを胎児という。胎児は子宮の中で育つ。

- ・羊水…胎児をうかせる液体で、胎児をしょうげきから守る。
- ・胎盤…母親と胎児の毛細血管が集まっているところ。
- ・へそのお…胎盤と胎児を結ぶひものようなつくりの管。



(3) 物質の交かん



物質の交かんは血液を通して行われるよ。

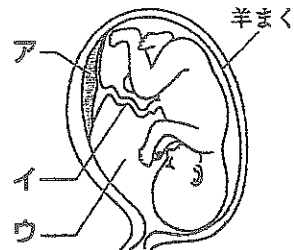
(4) 出産…受精から約38週たつと赤ちゃんが生まれてくる。生まれるとすぐにうぶ声をあげ、このとき肺に空気が入り、肺呼吸が始まる。赤ちゃんの体重は約3000g, 身長は約50cmである。

(7) 右の図で、ア～ウの部分は何といいますか。

(8) しょうげきから胎児を守る液体は何ですか。

(9) 母親と胎児の毛細血管が集まったものは何ですか。

(10) 胎児はどこを通して、母親から養分をもらいますか。



(11) 母親と胎児の物質の交かんについて、[]にあてはまることばを答えなさい。

